

# 第2学年 英語活動学習指導案

令和5年6月2日（金）

## わくわく・ドキドキ・チャレンジ蔵前 Next stage へ ～協働×問い＝深い学び～

目指す児童像：楽しみながら学び、自分の考えを伝える子

### 1 単元名 マイサンドイッチを作ろう

### 2 単元の目標

- ・食べ物の名前や材料名を聞いたり言ったりして慣れ親しむ。
- ・自分が欲しいものをもらうときの言い方を簡単な語句を用いて伝え合う。
- ・ゲームを通じてマイサンドイッチ作りを楽しむ。

(第3・4学年の領域別目標を参考にして設定)

聞くこと	ゆっくりはっきりと話された際に、身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと[やり取り]	身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句を用いて伝え合うようにする。

### 3 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 学びに向かう力、人間性等
聞くこと	食べ物の表現を聞くことに慣れ親しんでいる。	食べ物の表現を聞いて、意味が分かっている。	食べ物の表現を聞き取ろうとしている。
話すこと [やり取り]	「マイサンドイッチを作ろう」で学習した語句や表現に慣れ親しんでいる。	「マイサンドイッチを作ろう」で学習した語句や表現を用いて伝え合っている。	「マイサンドイッチを作ろう」で学習した語句や表現を用いて伝え合おうとしている。

#### 4 本単元で使うおもな表現・語彙

**What do you want? ~ please.** Yummy! Yucky.

(メニュー)sandwich

(野菜)carrot,cucumber, green pepper,onion, lettuce, tomato, broccoli

(食材) bread,ham,egg,bacon,roast beef,croquette, cheese

(調味料) mayonnaise,ketchup,salt, pepper,

#### 5 児童の実態

略

#### 6 単元について

本校の年間指導計画に基づき、4月に「あいさつをしよう」という単元を行った。英語であいさつしたり、名前を伝え合ったりして、お互いに気持ちよくやり取りする活動を楽しんだ。

5, 6月の単元としては「ランチを作ろう」が設定されている。食べ物の名前や材料名を聞いたり言ったりすることや、材料カードを使ってサンドイッチやハンバーガーを作って楽しむことをねらいとしている。そこで今回は、自分が考えたサンドイッチ(マイサンドイッチ)を、買い物のように材料カードを集めて作る活動(マイサンドイッチゲーム)を通してターゲットセンテンス「What do you want?」「~, please.」の定着を図ることとした。

マイサンドイッチゲームにより、日常生活と英語がつながっていることを楽しみながら体験し、次の単元以降も「英語を使いたい、英語を楽しもう。」と思える子供たちを育てたい。

## 7 研究主題に迫るための手立て

「協働×問い＝深い学び」を実現させるための工夫

### 手立て① 4つの問いの工夫

- (理解の問い)・単元のゴールとしてマイサンドイッチを作ることを知らせ、見通しをもたせて単元をスタートする。
- (関連の問い)・食べたことのあるサンドイッチの材料を想起させたり、日常生活の買い物のやり取りを想像させたりすることを通して、英語を身近に感じさせるようにする。
  - ・児童にとって身近な食べ物であるサンドイッチについて、どんな材料が入っているか尋ね、なるべく児童から単語を引き出すようにし、児童が自分の考えを主体的に表現できるようにする。また、新出の単語についてはチャンツや絵本を通じて楽しく慣れ親しむことができるようにする。
- (方略の問い)・児童が自分で適切な語句を選んで自分の欲しい材料を伝え、「マイサンドイッチ」が出来上がるという活動を通じて、友達に英語で伝えたいという思いをもてるようにする。そのために、より身近な買い物というシチュエーションでの活動を取り入れる。
  - ・ターゲットセンテンスについて十分に練習することで、自信をもってやり取りしたり、自分の言いたい語句を言えるようになったりすることをねらう。
- (振り返りの問い)・作ったマイサンドイッチについて伝え合い、「友達はどうなサンドイッチを作ったのかな。」「他にはどんな材料が使えるかな。」という思いをもたせ、より豊かなコミュニケーションの広がりにつなげる。
  - ・単元終了後も、教師が日常生活の中で「What do you want?」「～,please.」の使い方を例示し、今回習った表現や語句は他の場面で使うことができることに気付かせる。

### 手立て② 自分の考えのもたせ方の工夫

- ・フラッシュカードを提示し、視覚的に選びやすくすることで、自分の考えをもたせやすくする。
- ・児童がマイサンドイッチについて主体的に考えることができるよう、【作りたいサンドイッチのイメージをもつ→英語での材料の言い方を知りたくなる→買い物の会話のやり取りをより必要感をもって行うことができる】という流れでゲームを設定する。

### 手立て③ 協働の工夫

- ・単元の中で「Eye contact」や「Clear voice」の約束を提示し、相手の目を見て話すことや適切な声の大きさを工夫することを指導し、相手意識をもってやり取りできるようにする。
- ・グループやペアで活動することを通じて、友達同士で教え合ったり、友達の言葉を聞いて語句を獲得したりすることをねらう。

8 指導計画（本時は 3 / 3）

時	○主な活動内容	◎指導上の留意点 □評価 ・手立て
1	<p>○挨拶をする。(Greeting time)</p> <p>○英語学習の約束を確認する。</p> <p>○ウォーミングアップをする。(Warm up)</p> <p>・ Chants 「What do you want?」「～, please.」</p> <p>○本単元の活動を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて (Today's goal) : 「What do you want?」「～, please.」を言ってみよう</p> </div> <p>○サンドイッチの材料の言い方を知る。(New words)</p> <p>○「～, please.」ゲームをする。</p> <p>T:What do you want? C:Ham, please. T:Here you are. C:Thank you.</p> <p>○読み聞かせをする。(Story time)</p> <p>○学習の振り返りをする (Reflection)</p> <p>○挨拶をする。(Closing)</p>	<p>◎「Listen carefully」の約束を確認する。</p> <p>◎リズムやジェスチャーを用い、感覚を刺激して語句に親しませる。</p> <p>◎日常生活を想起させ、身の回りのことに関連させながら、新出単語に触れていくようにする。</p> <p>◎提示したフラッシュカード中から自分が作りたいサンドイッチの材料を選び、「～, please.」の練習をする。</p> <p>◎教師や ALT と 1対1 で発音練習し、「～, please.」を獲得しやすいようにする。</p> <p>◎食べ物に関連した内容の絵本（「Ketchup On Your Cornflakes ?」）を読み、「Yummy!」「Yucky!」のフレーズに触れる。</p> <p><b>知【聞くこと】</b> 学習した語句や表現を聞くことに慣れ親しんでいる。</p> <p>&lt;行動観察&gt;</p> <p>・手立て①（理解の問い）</p>

<p>2</p>	<p>○挨拶をする。(Greeting time)  ○英語学習の約束を確認する。  ○ウォーミングアップをする。(Warm up)  ・Chants「What do you want?」「～, please.」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> めあて (Today's goal) : マイサンドイッチの材料を考えよう </div> <p>○前時に習った単語を復習する。(Review)  ○マイサンドイッチゲームのやり取りの練習をする。  C1:What do you want?  C2:Ham, please.  C1:Here you are.  C2:Thank you</p> <p>○次時のお店ゲームで、自分がどんなサンドイッチを作りたいか考える。</p> <p>○読み聞かせをする。(Story time)</p> <p>○学習の振り返りをする (Reflection)</p> <p>○挨拶をする。(Closing)</p>	<p>◎「Clear voice」の約束を確認する。</p> <p>◎活動を通じて「What do you want?」「～, please.」の言い方に慣れ親しむ。</p> <p><b>思【話すこと】</b></p> <p>本単元で学習した語句や表現を用いて伝え合っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手立て① (理解の問い) (関連の問い) (方略の問い)</li> <li>・手立て② (フラッシュカードの活用)</li> </ul> <p>◎自分が考えたサンドイッチをワークシートに書く。</p> <p>◎食べ物に関連した内容の絵本(「Ketchup On Your Cornflakes?」)を読み、「Yummy!」「Yucky!」のフレーズに触れる。</p>
<p>3</p>	<p>○挨拶をする。(Greeting time)  ○英語学習の約束を確認する。  ○ウォーミングアップをする。(Warm up)  ・Chants「What do you want?」「～, please.」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> めあて (Today's goal) : マイサンドイッチを作ろう </div> <p>○マイサンドイッチゲームを行う。(Activity)</p> <p>○学習の振り返りをする (Reflection)</p> <p>○挨拶をする。(Closing)</p>	<p>◎「Eye contact」の約束を確認する。</p> <p>◎ゲームのやり方と約束を確認する。  ◎中間評価を行う。</p> <p><b>学【話すこと・聞くこと】</b></p> <p>本単元で学習した語句や表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手立て① (方略の問い) (振り返りの問い)</li> <li>・手立て② (ゲームの設定)</li> <li>・手立て③ (協働)</li> </ul>

9 本時の学習 (3/3)

(1) 目標

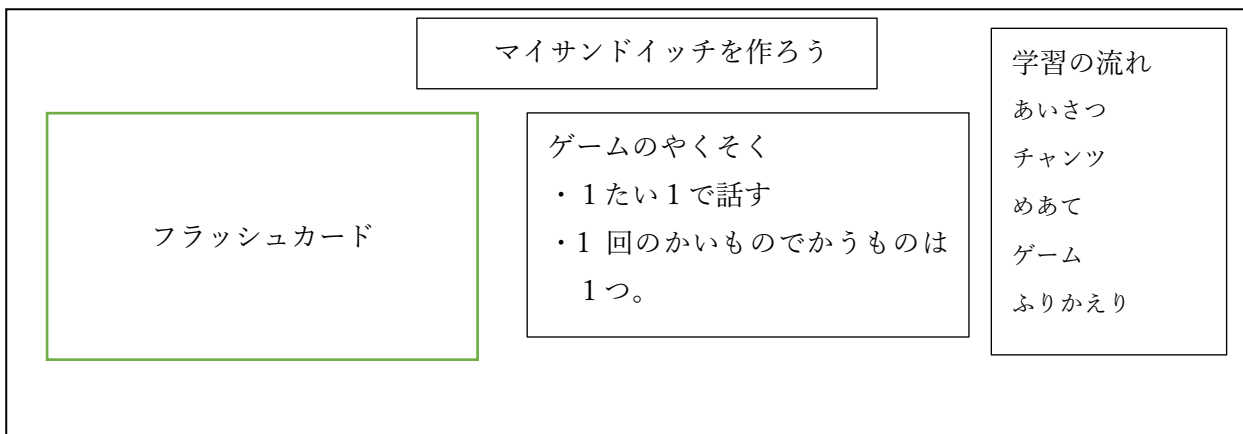
- ・ゲームを通じてマイサンドイッチ作りを楽しむ。(学びに向かう力、人間性等)

(2) 展開

	○ : 学習活動	T : 教師の問い C : 予想される児童の反応	◎ : 指導上の留意点 □ : 評価 ・ 手立て
導入	<p>○ 挨拶をする (Greeting time)</p> <p>○ ウォーミングアップをする。 (Warm up)</p> <p>○ めあての確認をする。 (Today's goal)</p> <p>○ 英語の約束の確認をする。</p>	<p>C : Stand up please. Good afternoon Tr.Tada T : Good afternoon everyone. C : Let's start English class. Sit down, please.</p> <p>T : How's the weather? C : It's ~. T:What day is it? C : It's Friday.</p> <p>T : Let's review. (単語の復習) T : Let's chants「What do you want?」 「~, please.」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">             マイサンドイッチを作ろう         </div> <p>T : 「Eye Contact」を意識して取り組みましょう。</p>	<p>◎相手の目を見て、その場に適した声の大きさと挨拶するよう心がけさせる。</p> <p>◎ウォーミングアップをし、円滑なコミュニケーションを図れるようにする。</p> <p>◎本時で使う単語やフレーズに触れる。</p> <p>◎リズムやジェスチャーを用い、感覚を刺激して語句に親しませる。</p> <p>◎本時の学習に見通しをもたせる。 ・手立て① (方略の問い) ◎約束を提示し、ジェスチャーとともに確認する。</p>
展開	<p>○ 活動を行う。 (Activity)</p>	<p>マイサンドイッチゲームのデモンストレーションを見せ、ゲームのやり方や約束を確認する。</p> <p>A (お店側 : shopper) B (お客 : customer) A : Hello B : Hello A : What do you want? B : Tomato, please. A : Here you are. B : Thank you. ... (このやり取りを繰り返す)</p> <p>マイサンドイッチゲームをする。 (場の設定 : 参照) ゲームが終わりを知らせる。</p>	<p>◎本時の活動に見通しをもたせる。</p> <p>◎デモンストレーションを行い、活動の内容を示す。 ・手立て②(ゲームの設定) ・手立て③ (協働)</p> <p>◎グループの入れ替わりの時に、中間評価を行う。 以下のような観点で価値付け、その後のやり取りにつながるように促す。 ・Eye Contact ・ジェスチャー</p>

	○作ったサンドイッチを伝え合う。	友達と作ったサンドイッチについて伝え合う。  T: Let's eat your sandwiches. C: Yummy!	<b>学</b> 【話すこと・聞くこと】  本単元で学習した語句や表現を用いて伝え合おうとしている。 (行動観察) ・手立て①(振り返りの問い)
まとめ	○本時の振り返りをする。 ○Closing time	T:振り返りをしましょう。  T: That's all for today. C: Stand up please. Thank you Tr.Tada T: You are welcome. All:See you next time.	◎本時でがんばったこと、工夫したことなど、活動の振り返りをする事で、学びを深める。

## 10 板書計画



## 11 授業観察の視点

- 手立て①より・(方略の問い) マイサンドイッチゲームの活動は、友達に英語で伝えたいという思いをもつことにつながっていたか。
- 手立て②より・作りたいイメージをもって買い物のやり取りをすることは、児童が主体的に考えることにつながっていたか。
- 手立て③より・本単元の流れや本時の活動は友達同士で教え合ったり、友達の言葉を聞いて語句を獲得したりすることにつながっていたか。